

組合員10,000名をめざして
出資金一世帯5万円が目標

組合員数 5,040名
出資金総額 169,423,300円
(1人平均出資金額33,616円)

医療生協 3月だより

隔月発行：編集——広報委員会

北多摩中央医療生活協同組合

〒184-0004 東京都小金井市本町1-15-9 3階
TEL.042 (382) 9112/FAX.042 (382) 9107
ホームページアドレス
<http://www.kitatama.coop/>

ケアの分断をなくし、患者と医師をつなぐ！



金子惇先生(右)と岩井美香所長

岩井 先生いつも診察の診療所を受診するの、あたりにくい調査しまし。昨年の新聞記事の中で、都市部の高齢者の調査から、いくつもの医療機関を受診する「ケアの分断」を指摘されていますね。

金子 沖縄の離島から赴任し、都市部は複数の医療機関を利用して、いる方が多いと思いましたが、離島ではひとつ

岩井 先生、診療所を受診するの、あたりにくい調査しまし。昨年の新聞記事の中で、都市部の高齢者の調査から、いくつもの医療機関を受診する「ケアの分断」を指摘されていますね。

金子 日本では患者が自分で病院を選べるけれど、診療科が違っているなどのデメリットもあります。ヨーロッパは、登録制で患者は迷わない。医師は、診療所で治療するか、他を紹介するか、を振り分ける訓練をしています。開業時に循環器、消化器などの概念がありません。検査はかなりの限られていて、診療所には胃カメラすらなく、血液検査の結果も翌日です。

岩井 日本でかかりつけ医をつくるにつれて診療所があ

岩井 先生いつも診察の診療所を受診するの、あたりにくい調査しまし。昨年の新聞記事の中で、都市部の高齢者の調査から、いくつもの医療機関を受診する「ケアの分断」を指摘されていますね。

金子 日本では患者が自分で病院を選べるけれど、診療科が違っているなどのデメリットもあります。ヨーロッパは、登録制で患者は迷わない。医師は、診療所で治療するか、他を紹介するか、を振り分ける訓練をしています。開業時に循環器、消化器などの概念がありません。検査はかなりの限られていて、診療所には胃カメラすらなく、血液検査の結果も翌日です。

岩井 日本でかかりつけ医をつくるにつれて診療所があ

むさし小金井診療所で毎月第4土曜日に診療をお願いしている金子惇先生の研究内容が、毎日新聞(2022年11月10日付)に「かかりつけ医を身近に」の記事で掲載されました。今後、高齢化社会が加速する中、かかりつけ医の役割はどうなっていくのか訪問看護師・岩井美香施設長が聞きました。

かかりつけ医がゲートキーパーの役割を

はどうすればいいでしょうか？

金子 今、かかりつけ医が議論されているのは、コロナの発熱外来でかかりつけ医に診てもらえないことがあるからです。かかりつけ医を定義し、その機能を果たしているなら行政からプラスでお金がもらえる仕組みなどが必要で、患者と診療所で合意して登録し、条件を満たしているかかりつけ医をリスト化し、診療所もそれを広報できるのが現在議論されています。日本では、現状どこでも受診でき、CT、MRIは人口当たりの台数も多く、経営を維持するためには検査することに悩まされています。国として医療費がかさむので、役割分担したり、必要な人だけが検査を受けるほうがコストとしてはいいのではないかと、相談窓口として診療所があ

紹介のルールがありますが、日本では入院先がみつからないこともあります。先ほどのご夫婦の例でいうと、診療所・病院の混在を整理し、ご本人達にも理生活面の様々な情報が入ってくるので、患者へのアドバイスもしやすいですね。

金子 全部を医師がやる必要もなく、ケアマネや看護師がやってくれるとか、医師がハードルを下げて、声をかけてもらいやすくなるか。「病院は病気を診る」に特化し、「診療所は生活を支えるインフラ」のような役割とし、病院で働いてい

(2面に続く)

2023年3月26日

北多摩中央医療生活協同組合
第39回通常総代会・総代選挙管理委員会

第39回通常総代会総代選挙公告

1. 立候補資格：2023年1月31日までに加入している組合員本人
2. 総代定数：150名
3. 選挙区及び定数：下記に基づきます。
4. 選挙の方法：選挙区定数をもとに選挙区の実情により推薦又は投票で行います。
5. 受付期間：2023年4月4日(火)～4月18日(火)
6. 受付方法：北多摩中央医療生活協同組合の所定の用紙に記入の上、本部に提出してください。

NO	選挙区名	総代数	地域
1	小金井東支部	9	小金井市東町全域
2	小金井公園支部	6	小金井市緑町、梶野町、関野町全域
3	小金井桜支部	6	小金井市桜町、本町2～4丁目
4	小金井北支部	6	小金井市貴井北町全域、本町5丁目
5	小金井南支部	6	小金井市貴井南町全域
6	小金井前原支部	7	小金井市前原町全域
7	小金井中央支部	12	小金井市中町全域、本町1丁目、6丁目
8	三鷹下連雀支部	14	三鷹市下連雀全域
9	三鷹西支部	4	三鷹市井口、深大寺全域、野崎2～3丁目
10	三鷹上連雀南支部	4	三鷹市上連雀6～9丁目、野崎1丁目
11	三鷹牟礼北野支部	8	三鷹市牟礼、北野全域
12	三鷹南支部	9	三鷹市新川、中原全域
13	三鷹井の頭支部	4	三鷹市井の頭全域
14	三鷹上連雀北支部	2	三鷹市上連雀1～5丁目
15	三鷹大沢支部	5	三鷹市大沢全域、野崎4丁目
16	調布支部	33	調布市全域
17	武蔵野支部	7	武蔵野市全域
18	市外・職員	1	上記を除く都内全域
	合計	150	

のがわ 翌月には福島第一原発事故から12年目を迎える2月10日、岸田内閣は「原発3文書」を閣議決定した。強制避難地域だけでも8万2千人余が故郷に戻らず、小・中学校の通学生徒は10分の1に減少しているのに、「再稼働・新增設」「60年超の運転容認」など積極的な原発推進に乗り出した。23年度に再生可能エネルギー関連予算を261億円に抑え、22年度第二次補正予算と合わせて合計1・6兆円、将来は20兆円を投じるといふ。先行して昨年末に閣議決定した「安保3文書」は、憲法九条も「専守防衛」も何のその、敵基地攻撃能力の保有、軍事費を5年間で43兆円増やして2倍にするもの。これら2つの「3文書」は、国会審議抜きの「閣議決定」で実施が先行しているのが共通している。戦後民主主義の担い手である私たちが、これらをこのまま通せるわけがない。(鈴)

た先生が診療所に来るときには、視点を交えないと診療所は小さな病院になってしまう。地域の視点みたいなものは、医師だけでなくケアマネや看護師がそれを伝えていくことが大事なのではないでしょうか。

岩井 私はずっと小金井で仕事をしています。ですが、医師会、介護事業所、行政と勉強会をやっているところができていて、思っているよりも、また、医療生協では、勉強会やイベントなど患者さんと診療以外で接することで見えてくることがあります。

金亨 島に行つてよかったことは、患者さんと診療所以外でよく会うことです。薬をもらつてもよくならないと言われたり、というのは診療所で診ているだけではわからない。病院に来なくなり、よくなっているのではなく他の病院に行っているのかもしれない。組合員にとっては医療者が班会に来てくれることにメリットがあり、医療側にとっても、患者さん、利用者さんの様子を診療所以外で見れるのは医師の成長に必要です。

岩井 ドクター同士のコミュニケーションについては、どうでしょうか？

金亨 以前、桜町病院の先生と勉強会をしていただいたときは顔がみえる関係になり、気軽に電話やメールができたので、そういうのはよかったほうがいいと思います。ただ、全部の人とつながれるわけではないので、病院の地域連携室や、診療所だったなら看護師に伝えるのもいいですね。

岩井 患者がお薬手帳を医師に見せていなかったりして、似たような薬が出ていたりすることもあります。

金亨 薬の重複は看護師からも医師に伝えてください。

岩井 安心しました。顔の見える関係が大切ですね。なんでも相談してもらえ関係でいたいと思います。

金亨 離島では関わる人が限られているので顔が見えている。都市部だとケアマネも看護師もいろんな人がいて、把握しきれないほど事業所もあって、そうするとどうやって連携をとるかをより意識的にしていかなないと、医者のほうが自分の医療機関に閉じこもりや

すいかもしれません。

岩井 医療だけでなく介護も含めてその人にかかわるチームとしてやっていけるといいですね。先生には、むかし小金井診療所で診察もしていただいていたが、診療所の課題や期待について何かありますか？

金亨 診療所が長く続いている、患者さんも長かったりして、病院に行つても診療所に戻ってくる患者さんも多いので、そういうときに昔みたいにかろうと思える診療所だといえますね。組合員という意味あいも大きくて、患者同士のコミュニケーションがある、そういう医療機関はなかなかありません。個人で病気に向かい合うのではなく、班会などで一緒につらさを共有することができるとはメリットどころかアドバンテージです。そういういいところがいろんな人に伝わるといいですね。

岩井 普段の何気ない会話から、患者・組合員同士のコミュニケーションが生まれていきますね。本日はお忙しいなか貴重なお時間をいただきありがとうございます。

読者の声

■ 昨年は、3人みなみうら診療所への受診を紹介。3人とも所長先生の対応とスタッフの対応に感謝し、受診を継続されている。やはりDr体制は大きい。小金井診療所がDr体制も決まり、患者さんが戻ってきたり、新規が増加するといったところが、現場の皆さん本当に大変かと思いますが、お体にはくれぐれもお気を付けて下さい。

(三鷹 M・E)

■ 最近の物価高は年金生活者の生活を苦しめています。そんな中で明るく元気な皆様の様子が伝わり元気が出ます。

(三鷹 T・I)

■ 守り手さん達は皆前向きで個性的でも「84歳誰のことも倉光さん」今も自転車スイスイがうらやましいです。私も坂の多い国分寺でどこへでも自転車移動の苦などありませんでしたが坂道でワゴン車の風圧でコケました。電動自転車のため重さで右足をケガ、やむなく手術がうまくならず今はヨテヨテと歩いて配達大変です。気を付けて下さいね。

(国分寺 U・K)

■ 支部長さんの2023年の抱負とても良かったです。沼田さんの「保健所を戻していただき」共感です。今、「三鷹武蔵野を復活するよ」1月1回三鷹駅南口で署名活動をしています。1989年の848〜2020年469力所へと半分近くまで保健所が減らされています。2004年三鷹・武蔵野・調布・狛江・小金井・府中の6市104万人を府中保健所が担当ひどい状況です。署名、ご協力

(武蔵野 M・F)

■ 生まれて初めて挑戦しました。頭のために良いと思います。要介護1で振り絞ってやりました。達成感が感謝です。生きる自信が出ました。

(調布 T・Y T・S)

■ 毎回楽しんで頭の体操をしています。

(武蔵野 T・F)

■ どうなる？介護保険制度」を読み、怒り心頭!!『介護の社会化』はどこへ行つてしまつたのか？

(武蔵野 M・M)

■ 「まず診る 援助す

る」地域から頼りになる存在として私たちが地域の医療介護の守り手です。

(立川 K・Y)

■ 地域に根ざした医療・福祉・介護現場は本当に大変かと思ひます。が今こそ、民医連の理念を具体化、地域にもっと出ていき、声を聴き、日常の医療、福祉と介護の充実を望みます。民医連でないところが頑張っています。皆さんお身体にはくれぐれもお気を付けて下さい。

(三鷹 E・M)

理事会だより

12月理事会【協議事項】○十一月経営報告
むさし小金井診療所の経営改善について○2023年度予算編成方針案○2022年生協強化月間まとめ【決済事項】○第39回通常総代会議案起草委員会設置○第39回通常総代会総代選挙管理委員会設置○第39回通常総代会役員推薦委員会設置についてそれぞれ満場一致で採決
2023年1月理事会【協議事項】○多摩地域の有機フッ素化合物健康被害の調査協力要請について○12月経営報告介護事業所の経営悪化について○12月組織活動の到達と年度末課題達成について【決済事項】○第39回通常総代会総代定数及び各選挙区総代数の件○医療福祉機構新型コロナウイルス対応支援資金に関する償還期間の変更の件について満場一致で採決

3. 組織活動の取り組み

1) 全国四課題目標

	23年度目標	23年度到達	第7次中期到達(2026)
仲間増やし	250人	5,300人	6,000人
出資金増	1千万円	1億8千万円	2億円
班づくり	10班	42班	200班
担い手づくり	50人		600人

- コロナ禍でも創意工夫した活動(ウォーキング、健康教室、スマホ講習会)などをさらに広げ、仲間増やしに繋がります。
- 加入時1口金額の減額になったことを活かし、積極的に声掛けを行います。
- 花束訪問など顔の見える緩やかな関係づくりを進め、「困りごと」にも対応する広がりを作ります。
- 積立出資金を重視し、200人の積立増資者登録を目指します。
- 世代や組合員の枠を超え、楽しい活動ややりがい・生きがいに繋がる活動となるよう工夫し、新たな世代の参加を重視します。
- 健康教室や健康チェック、健康チャレンジ等の健康づくりの結果を分

析、可視化し、「医療福祉生協の活動で、地域の健康度、介護力が高くなった」と立証できる活動を重視し、仲間増やしにつなげます。

4. 平和・社保・まちづくりの取り組み

「誰一人取り残されない」社会をめざします。

- 職場や支部で日本国憲法を継続的に学習し、大軍拡のための増税を許さない取り組みをすすめます。
- 岸田内閣の「戦争する国づくり」をストップさせ、「平和の準備」を進める日本にするための運動を強めます。
- 「一定以上の収入のある75歳以上の医療費窓口負担2割化」の影響調査を行い、撤回の運動をすすめます。
- 多摩地域の有機フッ素化合物の健康被害を明らかにする会の調査に協力し、住み続けられるまちづくりを推進します。
- ジェンダー平等・多様性を尊重し、全ての人の人権を守る公正な社会づくりにむけた学習や運動を強めます。
- 震災被害を風化させず、原発ゼロの取り組みを継続し、原発に頼らない社会をめざし、学び、運動を強めます。
- 2024年4月から導入するマイナンバー保険証への対応を行い、引き続き従来の保険証を発行するよう運動を強めます。

第39期通常総代会議案 2022年度活動の振り返りと2023年度の重点課題

誰でも健康で居心地のよく暮らせるまちづくりへ～第7次中期構想2年目へホップ～

2022年度活動のふりかえり

テーマ 医療福祉生協の強みを活かして組合員・職員が経営改善を進め
サステナブル（持続可能な）北多摩中央医療生協をめざして

1) 経営活動の到達点（2022年12月末現在）

経常剰余：1,489千円 予算比16.5% 前年比64.2%

2022年度の基本方向は①収支構造に伴う費用の見直し ②重点分野に人を配置し、経営改善することを優先しました。その結果、むさし小金井診療所、介護相談室は大きく改善。一方、訪問看護STは利用者の確保が厳しく悪化しました。経営改善にむけて、常勤職員3名を他法人に移籍、むさし小金井診療所の外来医師との契約を終了しました。また、事務局本部は11月からむさし小金井診療所に移転し、経費の削減を行いました。

2) 医療・介護、健康づくり活動の到達

・患者・利用者動向延数（4～12月累計）

	むさし小金井		みなみうら		のがわ訪問看護		デイサービス	居宅支援
	外来	在宅	外来	在宅	医療	介護		
実績	2,450	434	3,216	479	200	1,010	1,277	604
予算差	-113	-166	88	-64	-96	-238	-212	20
前年差	14	-205	213	1	-23	19	-197	289

- ・医療・介護活動の基本姿勢「まず診る」、「援助する」、「何とかする」を実践し、コロナ禍での組合員・地域住民の期待に応えてきた。発熱外来は両診療所で設置し、延290人が受診し、陽性率は56.5%でした。みなみうら生協診療所では駐車場に専用のテントを購入し、積極的に受け入れてきました。むさし小金井診療所に新年度から常勤の所長を配置することが出来ました。
- ・デイサービスは科学的介護を導入し、利用者の機能低下、介護予防に取り組みましたが、新型コロナウイルスの流行の影響を受け、利用者を十分確保することができませんでした。
- ・訪問看護STは人員体制を厚くしましたが、利用者の入院・入所や職員のコロナ感染退職等による影響もあり、利用者の確保が伸びなかった一方、むさし小金井診療所への在宅患者の依頼を増やし、診療所との一体感が増しました。
- ・介護相談室は3人体制が定着し、他からの紹介数も多くなり、デイサービスこがねいやむさし小金井診療所への在宅患者を紹介するケースが増えました。
- ・健診活動は市民健診受診者が866人と昨年より49人減少しました。インフルエンザと新型コロナ感染の流行もあり、地域、支部と職員の声掛けなどの組織が不十分でした。
- ・健康づくり活動では、健康チャレンジは55名87コースに参加しました。コロナ禍で昨年より参加者が減少しましたが、「励みになるのでこれからも続けます」などの意見が多数ありました。さらに普及するための工夫が今後の課題です。
- ・まちづくり活動では三鷹市で行われている活発な地域活動に生協も一員として加わることで、地域の団体と生協が連携してともにできることがきっとあるはず！という思いから、三鷹地域で社協も含めた他団体と生協の連携が強まりました。「誰一人取り残さない」を合言葉に他団体と協力し、フードドライブ（パントリー）が三鷹、小金井地域で継続的に行われました。
- ・花束訪問が17支部11支部が実施（1月末）され、291件を訪問し「困りごと」などの相談を受けました。直接対話できたところでは「最近、あまり話していなかったのうれしい」とか「わざわざ来ていただいてありがとう」という声で、元気になりました。
- ・多くの支部で組合員以外の方にも呼び掛けて村田先生による「認知症学習会」が開催され、認知症の正しい理解とその対応を深めました。また、調布支部では「高齢者の歯と口の健康」について学習会を開催しました。

3) 組織活動の到達

・全国四課題（2023年1月末現在）

	目標	到達	前年
仲間増やし	250人	120人	105人
出資金増	2,000万円	630万円	460万円
班会・班づくり	500回・10班	349回・2班	・2回
担い手づくり	50人	25人	13人

- ・組織強化の課題では多くの項目が昨年より上回りました。1口出資金額を5,000円から1,000円に減額し、「声がかかりやすくなった」という声が多くなりました。小金井ブロックが年度目標を達成しました。
- ・平和社保活動では「保健所を復活させる」取り組みで市との交渉などが武蔵野、三鷹市で行われました。武蔵野、小金井、三鷹、調布市で補聴器の公的助成を求める取り組みも行われました。調布支部では23人が登戸旧陸軍研究所跡資料館を見学しました。
- ・「支部長の悩みを共有し、支部活動を元気に進めよう！」と医療福祉生協連の今井好一常任理事を講師に支部長交流会を開催し14人が参加しました。

2023年度重点課題

1. 経営改善の取り組み

2023年度の剰余目標は2,000万円をめざします。

そのための2023年度の経営改善の取り組み

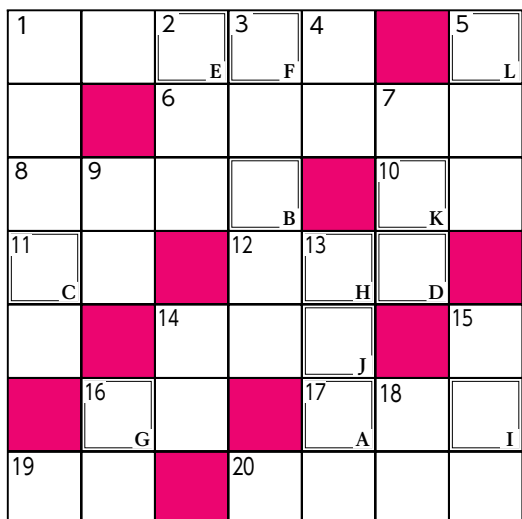
- 1) 2024年の医療、介護報酬の同時改定を視野に「連携」「看取り」を重視し、「かかりつけ医」の機能強化のための医療・介護活動を進めます。新たな加算も検討し、全ての事業所をフル稼働し、事業収益を増やします。
- 2) 中期経営計画の初年度の計画を総括し、2年目の取り組み課題を明確にします。
- 3) 2023年度も銀行借入を行わず、剰余と出資金で設備投資をすすめます。
- 4) 各事業所の予算管理を推進するために、事業所独立会計システムの導入を検討します。
- 5) 2022年度経営が大きく悪化した訪問看護ステーション、デイサービスの経営改善にむけた対策委員会を設置します。

2. 医療・介護活動の取り組み

すべての事業所で「まず診る・援助する・何とかする」を実践します。そのための2023年度の医療・介護活動の取り組み

- 1) 後期高齢者保険料や窓口負担増の引き上げ、大軍拡による増税や物価高騰等で生活困窮者が増大し、無保険者や資格証・短期証が増加することや長期投与の増加などの影響で受診を控えることは確実です。高いアンテナを持ち、外来患者、利用者の状況を把握します。
- 2) むさし小金井診療所は4月からは新所長の単位増の有利な点（発熱外来への対応、いつ行っても同じ医師に診てもらえる、緊急往診や外来診療の補助など）を活かし、医療活動を進めます。
- 3) 新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行に対応した、診療体制や設備を確立します。
- 4) 2024年の同時改定を視野に「連携」「看取り」を重視し、「かかりつけ医」の機能強化を進めるため、全患者の慢性疾患医療の登録を行い「質の向上」すすめます。
- 5) みなみうら生協診療所に電子カルテを導入し、医療活動に活します。
- 6) 訪問看護ステーションは365日24時間切れ目なく、フットワークが軽い事業所をめざします。
- 7) 介護事業では「LIFE」を導入し、科学的介護の実践をすすめています。多数のニーズと少数のニーズにも対応するメニューを作成し、個別機能などのケアの質の向上をめざします。

解き方：A B C、の枠内の文字を順に並べてください



作：東京保健生協 組合員 倉持雅臣

クロスワード? Qパズル

◆当選者(敬称略)
国分寺市 河合 詩子
三鷹市 遠藤 みえ子
武蔵野市 福長みさ子
調布市 多部田美男・しのぶ

◆前回正解
『花粉症(カフンシヨウ)』

◆締め切り
4月7日必着

◆発表
2023年5月号

◆協同組合「医療生協だより」係

◆送先
〒184-0004
東京都小金井市
本町1-15-9

◆北多摩中央医療生活協同組合

◆協同組合「医療生協だより」係

◆締め切り
4月7日必着

◆発表
2023年5月号

◆協同組合「医療生協だより」係

◆送先
〒184-0004
東京都小金井市
本町1-15-9

◆北多摩中央医療生活協同組合

◆協同組合「医療生協だより」係

◆締め切り
4月7日必着

◆発表
2023年5月号

◆協同組合「医療生協だより」係

◆送先
〒184-0004
東京都小金井市
本町1-15-9

ヨコのカギ

- 1、食品の保存、冷却になくならない家電です
- 6、窓を英語で
- 8、寒さに耐えること ○○○○訓練
- 10、助けてもらったお礼にやってきてきれいな織物をつくる 日本昔話○○の恩返し
- 11、肉眼で見えること、○○光線
- 12、体躯 なんと読む
- 14、携帯可能なパソコンです、○○○パソコン
- 16、全くなにもないところからのスタート、○○からの出発
- 17、めがね 双眼鏡のことです サン○○○、オペラ○○○
- 19、卵の中にあるものといえば、白身じゃないよ
- 20、子供の頃の運動会 頭にこれを巻いて走りました、紅白帽じゃなかったな

タテのカギ

- 1、車を借りてきました
- 2、最近ではカーシェア
- 3、○○○○スボー
- 4、藍染のなかでも最も濃い色とされています、狐の鳴き声?
- 5、水泳のために水をためた施設です、学校には25メートルのものがありました
- 7、造船、修理のための施設です、人の総合検診のことを人間
- 9、病気の診断、治療をする職業の人です
- 13、物事の始まり、解決の手がかりのことです、からんだ糸をときほぐす
- 14、新型コロナウイルスの影に隠れてますが油断大敵 急性胃腸炎を引き起こすウイルス、

◆たくさんのご応募ありがとうございました。ご応募が足りませんでした。送ってくださいます。ひとこと本紙の感想・意見をのせてください。正解者の中から抽選で若干名の方にクオカード(五百円)を送ります。

◆協同組合「医療生協だより」係

◆送先
〒184-0004
東京都小金井市
本町1-15-9

◆北多摩中央医療生活協同組合

◆協同組合「医療生協だより」係

◆締め切り
4月7日必着

◆発表
2023年5月号

◆協同組合「医療生協だより」係

薬の話

皆さんと一緒に考えていきたい
医療制度のこと

古川広志
本町薬局長



患者…「薬が供給困難で入できない」とニュースで知り、心配です。

古川…特にジェネリック医薬品で薬の供給停止や出荷調整が行われています。きっかけは

2020年まで遡り、医薬品メーカーである小林化工が薬を不正に製造・販売した事件です。水虫薬の中に睡眠導入剤の成分が混入し、2000人を超える方に健康被害がでてしまいました。これを機に他のメーカーにも立ち入り調査が行われ、責任は追及されるべきです。一方、国が進めてきた医療費抑制政策

が背景にあると考えられます。「国の医療費を抑えるためには、薬の製造・供給が滞り、薬が不足する事態に発展し、現在も目途がたっていない。」

患者…薬価を下げることで医療費が抑えられ薬代も安くなるのでは?

古川…国は、ジェネリック医薬品の普及を最優先にすすめておきながらメーカーの生産管

介護保険制度 どうなる??

280万円以上です。この基準を昨年10月に導入された医療費の窓口負担2割の基準に合せて、年金収入等230万円程度に引き下ろすことが検討されています。このまま改悪を許せば医療も介護も負担増で受けられない状況になります。

利用者への費用負担について解説しました。介護職員にとつて負担増につながる改定が介護現場の合理化・効率化を掲げた人員配置基準の切り下げです。現在も介護現場や病院の介護人材不足は深刻です。2025年

には必要な介護職数234万人に対して32万人不足し、総人口の減少と後期高齢者の増加が進む2040年には、69万人の不足が見込まれています。高齢社会に向けて介護保険制度が創設されましたが、制度を担う人材育成の政策が整っていない。全国介護福祉士の養成校の定員は2万6千人から現在1万3千人に半減し、さらに入学者数は1万9千人から7千人に減少しています。学生が集まらず閉校となる悪循環になっています。

介護職員の処遇改善の取り組みが、介護事業の経営の安定が必要で、人材不足の解決策にはならないと思います。介護人材の育成と確保の抜本的な施策を求める運動を進めていきたいと思っています。

東京都生協連合会 支援部 齊藤恵子

